

ギニア月報（2026年8月）

主な出来事

【内政】

- 3～14日、ドゥンブヤ大統領は年次休暇のためギリシャへ渡航・帰国。
- 15日、Model 党首のアリウ・バー氏がコナクリ中央刑務所からコヤ刑務所へ移送。
- 18日、大統領令により各省庁の事務次官を任命。
- 21日、大統領令により、モリ・コンデ雇用・労働・社会保障大臣、ムラナ・スマコミュニケーション・デジタル経済・イノベーション大臣、文化・観光・手工芸担当大統領顧問のマハマドゥ・アブドゥライ・ディアロ氏を解任。
- 22～23日、ダルエスサラーム地区のゴミ堆積場が崩壊。
- 24日、大統領令により、「脱走」を理由に173名の軍人を除籍処分。
- 24日、フォレカリア県で、目隠しをされ手足を縛られた状態の身元不明の6名の遺体を発見。

【外交】

- 20日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は、米国国務省アフリカ担当次官補フランク・ガルシア氏と会談し、二国間関係強化について協議。

【経済（開発協力含む）】

- 6日、SimFer は、シマンドゥ鉄鉱山のプロジェクトに関し、鉱山工事の進捗率は77%、港湾インフラは85%、鉄道の全面稼働は2026年第1四半期に完了したと発表。
- 7日、ギニア政府は、国営企業 Nimba Mining Company (NMC) と初の鉱業協定に署名。
- 11日、ギニア政府及び IMF は、ギニア向け拡大クレジット・ファシリティー (ECF) プログラムについてスタッフレベルで合意。
- 13日、金の探査事業にも参入している NMC は、豪企業 Resolute と協定を締結し、「Landaya Gold」という合併企業を設立。
- 19日、保健・公衆衛生省は、再建・近代化プロジェクトの正式な開始に伴い、8月19日よりイニアス・ディーン病院を一時的に閉鎖すると発表。

1 内政

- ・ 3日、Forces vives de Guinée (FVG) は、不正な選挙プロセスの結果生まれたとみなす現行の諸制度を拒否すると発表し、ギニア国民に対して憲法秩序への回帰に向けて行動するよう呼びかけ。

- ・ 3 日、国軍参謀総長は国営 TV にて、大統領に対するゆるぎない忠誠を誓う声明を読み上げ。
- ・ 3～14 日、ドゥンブヤ大統領は年次休暇のためギリシャへ渡航・帰国。
- ・ 4 日、ファヤ・フランソワ・ブルノ行政・公務改革大臣兼政府報道官は、加藤隆一駐ギニア日本国大使と会談を実施。
- ・ 7 日、ファティマ・カマラ漁業・海洋経済大臣は、加藤隆一駐ギニア日本国大使と会談を実施。
- ・ 10 日、セル・バルデスポーツ大臣は、加藤隆一駐ギニア日本国大使と会談を実施。
- ・ 10 日、ファス・テア環境・持続可能な開発大臣は、加藤隆一駐ギニア日本国大使と会談を実施。
- ・ 14 日、ドゥンブヤ大統領は国家防衛・安全保障最高評議会を主宰し、警戒体制の強化、国境パトロールの強化、及び各部隊間の連携の強化を指示。
- ・ 15 日、Model 党首のアリウ・バー氏がコナクリ中央刑務所からコヤ刑務所へ移送。
- ・ 18 日、大統領令により各省庁の事務次官を任命。
- ・ 19 日、国内外メディアとの関係強化を目的とした報道機関との会合において、アマラ・カマラ大統領府事務総長は、「ドゥンブヤ大統領が掲げるビジョンは、近代的で透明性があり、国民に説明責任を果たす国家である」旨発言。
- ・ 19 日、ファヤ・フランソワ・ブルノ政府報道官は、コナクリの大規模な都市整備・近代化計画の一環として、コナクリ中央刑務所から収容者を移送し、将来的に跡地は別の用途に使用されると発表。
- ・ 21 日、大統領令により、モリ・コンデ雇用・労働・社会保障大臣、ムラナ・スマコミュニケーション・デジタル経済・イノベーション大臣、文化・観光・手工芸担当大統領顧問のマハマドゥ・アブドゥライ・ディアロ氏を解任。
- ・ 22～23 日、ダルエスサラーム地区のゴミ堆積場が崩壊。
- ・ 24 日、大統領令により、「脱走」を理由に 173 名の軍人を除籍処分。
- ・ 24 日、ドゥンブヤ大統領は、議会休会中に大統領令により立法を可能とする法律を公布。
- ・ 24 日、フォレカリア県で、目隠しをされ手足を縛られた状態の身元不明の 6 名の遺体を発見。
- ・ 26 日、ドゥンブヤ大統領は、イニアス・ディーン病院等カルーム地区の複数の建設現場を視察。
- ・ 30 日、バー首相は、30 の省庁を「主権とガバナンス」、「経済と生産構造の転換」、「インフラと持続可能な開発」、「人的資本と連帯」の 4 つの大きな柱に再編し、柱毎に省庁間委員会を設置し、閣議及び大統領に付議される決定等

の準備を担うと説明。

2 外交

- ・ 20 日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は、米国国務省アフリカ担当次官補フランク・ガルシア氏と会談し、二国間関係強化について協議。

3 経済（経済協力含む）

- ・ 3 日、臨時会期で招集された国民議会議員は、ボファプロジェクトの改定鉱業協定等の複数のオルドナンスの批准を承認。
- ・ 5 日、ギニア政府及び国連開発計画(UNDP)は、両者の協力プログラム「国別プログラム文書(CDO 2024-2028)」の年次レビューを実施。
- ・ 5 日、経済・財政・予算省は、欧州連合（EU）及びフランス開発庁（AFD）の資金による、総額 16 万 8 千ユーロ相当の IT 機器・車両を「国内資源動員・監督機関支援プログラム」の枠組みの下で受領。
- ・ 6 日、SimFer は、シマンドゥ鉄鉱山のプロジェクトに関し、鉱山工事の進捗率は 77%、港湾インフラは 85%、鉄道の全面稼働は 2026 年第 1 四半期に完了したと発表。
- ・ 7 日、ギニア政府は、国営企業 Nimba Mining Company (NMC) と初の鉱業協定に署名。
- ・ 11 日、ギニア政府及び IMF は、ギニア向け拡大クレジット・ファシリティー（ECF）プログラムについてスタッフレベルで合意。
- ・ 12 日、ギニア政府は発電容量 60MW の廃棄物エネルギー化施設の整備を進めており、3 回目の建設予定地視察を実施。
- ・ 13 日、金の探査事業にも参入している NMC は、豪企業 Resolute と協定を締結し、「Landaya Gold」という合併企業を設立。
- ・ 17 日、バー首相は、SPIC の代表団と面会し、ボファのアルミナ精錬所建設プロジェクトの進捗状況について意見交換を実施。
- ・ 19 日、保健・公衆衛生省は、再建・近代化プロジェクトの正式な開始に伴い、8 月 19 日よりイニアス・ディーン病院を一時的に閉鎖すると発表。

（了）